様式３(2020.06改)

作成日　令和　２年　８月　２０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101481
事業所名	グループホーム岡崎若松の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナが蔓延する以前には、スーパーマーケット、喫茶店、ラーメン店、コンビニエンスストアと、豊かな地域資源を活用したお出かけが豊富でした。現在は、散歩の折に馴染みのパン屋さんに立ち寄る程度ですが、町内清掃などには引き続き加わっています。フェンスにツルが絡まってご近所迷惑なため、管理者が除草しようとしていると、利用者も手伝ってくれるという穏やかな暮らしがコロナ禍の中、続いています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	現在の管理者に交替してから運営推進会議は家族、利用者ともに参加するようになっており、他出席者からも具体的に役立つ意見が多様に上がっていることが議事録から確認できます。現在も２ヶ月に１回の開催を順守していますが、３月、５月、７月は職員と利用者のみでの開催となり、外部者は加わっていません。議事録は市へ提出しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	生活保護受給者を受け入れていることから社会福祉協議会職員が定期的に足を運んでくださり、運営推進会議が通常開催であれば市役所介護保険課ならびに地域包括支援センター職員揃っての出席があり、またグループホーム部会では縦横の意見交換があるほか、部会主催の研修会も大変有意義なものですが、本年の開催は未定です。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	2月以降は家族にも面会を自粛してもらっていましたが、このままだと冬季に第二波がやってきて「1年会えない」との危惧から、条件（体温37．5度以下、マスク、面会者は2名まで等）を設定して再開しており、家族と利用者の意向に沿って対応しています。リビングでは数名集まってトランプが始まり、散歩では車いすを押してくれたりと、意向把握の機会がふんだんにあり、申し送りノートや介護詳細に残して共有されています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										